



札幌支部 支部長
酒 勾 桂 子

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

はじめに、昨年9月北海道胆振東部地震で被災されました会員の方々に、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い日常が回復されます事をお祈り申し上げます。

さて、平成30年度の札幌支部活動で特筆すべきところは、自治体との協働の動きがあげられます。1. 民泊新法による札幌市民泊申請受付業務に関する情報・意見交換、申請業務支援への提案 2. 札幌市創業支援事業への参加 3. 札幌市民生委員及び周辺自治体への「たくまくんサポート」配布 これらの事業を通して、行政機関と信頼関係を深め次年度以降の新しい働きかけのステップとしてまいります。

今後、道内自治体は人口減少による自治体のスリム化が予想され、新しい法律や改正に対応する企画専門職の不足を法律専門職である士業界に求める傾向がより高まることでしょう。その際には信頼されるパートナーとして「行政書士会」にやってもらいたいという環境を作ってまいりたいと思っております。会員皆様の一層のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

新しい年が会員皆様にとり、明るく活気にあふれる年になりますようご祈念申し上げます。



空知支部 支部長
佐 藤 武

新年明けましておめでとう御座います。

日ごろは当支部に対し数々のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

支部総会で承認された事業については、計画通り概ね実施する事が出来ました。

10月14日空知支部第1回研修会を奈井江町において開催し、広報月間は 9市13町の関係団体を訪問し、ポスター等の掲出を依頼しました。

ただ毎年の悩みの種は研修会における課題の選定です、支部内の会員はどのような研修を望んでいるのか不明な点です。

その点を役員会で検討しますが、毎回結論が出ません。

それらが今後の課題として、あらゆる機会を通して検討して参りたいと考えております。

その事により現会員の質的向上をはかり、街の法律化としてどんな事案にも対応出来る行政書士として研修項目の一層の充実化を図って参りたいと存じますので、今後とも当支部に対し更なるご支援ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

